

		STEP1	STEP2	STEP3	STEP4	参考	
基本的な考え方	以下の優先順位(①~③)で採用した「2030年度の各指標の予測値」と「2013年度実績値」から2030年度の排出量を算出 【優先順位】①県公表の予測値 ②国公表の予測値 ③県内データ(2005年~直近)の線形トレンドによる推計値	●国計画の想定値(0.25kg-CO ₂ /kWh)を採用し、電力による排出分を換算(排出量×0.25/0.516)	●国が示す各取組のうち、県内で実施可能な取組の削減量を指標(出荷額、床面積等)で按分し、本県分を算出	●県内のあらゆる主体の取組による削減・吸収量を算出し、上乘せ	最終排出量	2013年度(基準年度)	現行目標
産業部門	1 マクロレームのある4業種(鉄鋼、化学、窯業・土石製品、パルプ・紙) 【算出方法】2030年度排出量=③×①/② ①2030年度の全国素材生産量(マクロレーム)…② ②2013年度の全国素材生産量 ③2013年度の県内CO ₂ 排出量 2 マクロレームのない他業種 【算出方法】2030年度排出量=③×①/② ①2030年度の県内出荷額…③*2 ②2013年度の県内出荷額 ③2013年度の県内CO ₂ 排出量 *2出荷額の集計方法変更により2007年度からのデータを使用	●電力使用による排出分について電力排出係数を考慮 ●業種ごとの電力使用割合は、「全国エネルギー統計」の公表値から算出(ヒアリング事業者は、聴取した電力使用割合を採用)	【主な取組(以下、同じ)】 ●省エネ性能の高い設備・機器等の導入促進(業種ごと&業種横断) ●エネルギー管理の徹底(FEMS) ●業種間連携省エネの取組推進	【主な取組(以下、同じ)】 ●工場・事業所等での取組強化 ●省エネ設備の導入支援(補助等) ●CO ₂ 削減協力事業等の推進 ●省エネセミナー受講者等による取組強化 ●再エネ導入促進の強化 ●技術開発支援 ●施設園芸における省エネ設備の導入支援(補助等)	29,144 kt-CO ₂ (▲39.2%)	47,952 kt-CO ₂ (エネ転含む)	34,276 kt-CO ₂ (エネ転含む) (▲28.5%)
	エネルギー転換部門	4区分(④電気 ⑤IPP ⑥ガス ⑦揚水発電所)で各事業者の実績値(報告値)と具体的な計画値を積み上げ、自家消費分の排出量を算出	揚水発電に係る分のみ電力排出係数を考慮	—	—		
(算出値)	(エネ転含む) 45,138kt-CO ₂	39,254kt-CO ₂	▲3,034kt-CO ₂	▲7,076kt-CO ₂			
業務部門	【算出方法】2030年度排出量=③×①/②×排出係数 ①2030年度の県内床面積…③ ②2013年度の県内床面積 ③2013年度のエネルギー*3消費量 *3A電力、B都市ガス、C LPG、D A重油、E 灯油	「A電力」分のみ電力排出係数を考慮	●建築物の省エネ化 ●高効率な省エネ機器の普及 ●エネルギー管理の徹底(BEMS) ●クールビズ・ウォームビズの促進	●オフィス・店舗等での取組強化 ●省エネ設備の導入支援(補助等) ●省エネセミナー受講者等による取組強化 ●再エネ導入促進の強化	2,121 kt-CO ₂ (▲68.9%)	6,815 kt-CO ₂	3,217 kt-CO ₂ (▲52.8%)
	(算出値)	6,841kt-CO ₂	3,912kt-CO ₂	▲974kt-CO ₂	▲817kt-CO ₂		
家庭部門	【算出方法】2030年度排出量=③×①/②×排出係数 ①2030年度の県内世帯数…① ②2013年度の県内世帯数 ③2013年度のエネルギー*4消費量 *4A電力、B都市ガス、C LPG、D 灯油	「A電力」分のみ電力排出係数を考慮	●住宅の省エネ化、高効率な省エネ機器の普及 ●エネルギー管理の徹底(HEMS) ●クールビズ・ウォームビズの促進 ●家庭における食品ロスの削減	●うちエコ診断の推進 ●住宅の省エネ化・省エネ設備の導入支援(補助等) ●家庭における省エネ・創エネ支援 ●再エネ導入促進の強化 ●ひよごフードドライブ運動の推進	3,273 kt-CO ₂ (▲60.9%)	8,364 kt-CO ₂	4,521 kt-CO ₂ (▲45.9%)
	(算出値)	8,145kt-CO ₂	5,256kt-CO ₂	▲1,480kt-CO ₂	▲503kt-CO ₂		
運輸部門	1 ガソリン車 【算出方法】2030年度排出量=②×(1+①) ¹⁷ ①2030年度までの伸び率(マクロレーム)…② ②2013年度の排出量 2 ディーゼル車(1と同じ) 3 LPG 【算出方法】2030年度排出量=③×①/② ①2030年度の県内登録台数…③ ②2013年度の県内登録台数 ③2013年度の県内CO ₂ 排出量 4 鉄道 【算出方法】2030年度排出量=③×①/② ①2030年度の県内JR乗客人員数…③ ②2013年度の県内JR乗客人員数 ③2013年度の県内CO ₂ 排出量	「鉄道」のみ電力排出係数を考慮	●エコドライブの推進 ●次世代自動車の普及等 ●道路交通流対策等の推進	●運送会社等での取組強化 ●EV・FCVの普及 ●自動車交通の円滑化 ●モーダルシフトの推進等 ●テレワーク、グリーンモビリティ、エコ通勤の推進等に伴う公共交通機関の利用形態の変化等 ●カーボンニュートラルポートの形成	4,267 kt-CO ₂ (▲47.5%)	8,128 kt-CO ₂	5,726 kt-CO ₂ (▲29.6%)
	(算出値)	8,128kt-CO ₂	7,816kt-CO ₂	▲2,646kt-CO ₂	▲903kt-CO ₂		
その他(廃棄物部門、CH ₄ 、N ₂ O、HFC等)	③2013年度の温室効果ガス排出量×①2030年度の各指標の値/②2013年度の各指標の値 【廃棄物部門】①2030年度廃棄物排出量・埋立量等…③ 【産業部門CH ₄ ・N ₂ O】①2030年度廃棄物排出量…③ 【業務、家庭、運輸部門CH ₄ ・N ₂ O】①2030年度エネルギー消費量…③ 【農業部門CH ₄ ・N ₂ O】①2030年度の各指標の値…③ 【HFC等その他ガス】国の排出量を各指標で按分し県排出量実績値を算出後、線形トレンドにより2030年度排出量を算出…③	—	●HFC等に関する対策・施策 ●CH ₄ ・N ₂ Oに関する対策・施策 ●廃棄物焼却量の削減	●フロン類の適正回収・処理の推進 ●廃棄物焼却量、処分量の削減 ●下水道汚泥焼却の高度化等 ●ごみ発電導入促進の強化	1,766 kt-CO ₂ (▲55.0%)	3,923 kt-CO ₂	2,412 kt-CO ₂ (▲38.5%)
	(算出値)	3,992kt-CO ₂	3,992kt-CO ₂	▲1,936kt-CO ₂	▲290kt-CO ₂		
吸収源による吸収量	—	—	●森林・農地土壌炭素吸収源対策、都市緑化等推進▲1,060kt ●県独自施策による森林整備・都市緑化等の実施 ●建築物全般への県産木材利用促進 ▲200kt	▲1,260 kt-CO ₂			▲958 kt-CO ₂
合計	72,244kt-CO ₂	60,230kt-CO ₂	▲11,130kt-CO ₂	▲9,789kt-CO ₂	39,311 kt-CO ₂ (▲47.7%)	75,182 kt-CO ₂	49,194 kt-CO ₂ (▲35%)